

2019年度 TASC 助成研究 募集のお知らせ

次のいずれかのテーマについての

人文科学・社会科学

の研究に対し、助成を行います。

- ① 嗜好品、あるいは嗜好品に関連する産業や企業に関する歴史・文化等の研究
- ② 嗜好品の摂取・利用が、人間の心理・行動・価値観・欲求・健康観・幸福感、あるいは社会に与える影響の研究
- ③ 上記①,②以外の人文科学・社会科学の分野における嗜好品に関する研究

(注) 本助成における嗜好品とは、たばこ・酒・茶・コーヒーなどの「栄養摂取を目的とせず、香味や刺激などを得るための飲食物」を指します。

詳しい応募要領・お問い合わせ先や過去の採択テーマ一覧などは、TASCホームページ「研究助成」のコーナーをご覧ください。

募集の概要

- 助成対象者
日本国内の大学、研究機関、博物館等に所属する研究者(非常勤での在職者、大学院生も可)とします。
- 助成金額
1件につき原則として50万円、75万円または100万円とし、研究テーマ・研究方法等に応じて決定します。年間の助成総額の上限は原則として500万円です。
- 研究期間
2019年4月1日から1年間
- 申請受付期間
2018年10月1日(月)から2018年12月3日(月)当日消印有効
- 審査決定
2019年3月
- 助成金の交付
2019年4月以降
- 募集要項、申請書
募集要項は公益財団法人たばこ総合研究センター(TASC)ホームページの「研究助成」をご覧ください。
また、申請書は当該ホームページからダウンロードしてください。
申請は、郵送にてお願いします。電子メール、FAXでは受け付けません。

<参考>

2018年度(平成30年度) 採択テーマの一覧

中国内モンゴルにおける馬乳酒製造法の変化に関する比較民族誌的研究
フランスにおけるたばこ規制立法の実施過程における法的課題に関する研究
日本酒の製造における文書化の役割に関する文化人類学的研究
インドネシア・西スマトラにおける換金作物:ガンビールの生産と流通に関する人類学的研究
ポスト禁酒法時代のアルコール広告に見る「節度ある飲酒者」の表象 —シーグラム社ウィスキー広告を中心とした分析—
喫煙者による非喫煙者への配慮的行動は非喫煙者にどう理解されるのか
“酒縁”がとりもつ嗜好性の追究—会津地方における日本酒造りと消費をむすぶ関係の再構築—
居酒屋における飲食と喫煙と発話の並行現象の分析—喫煙習慣のある高齢者を対象に